

基本方針 I	施策2 未来を見据えた特色ある学びを推進する
--------	------------------------

重点事業5	ICTを活用した学びの充実	所管課	指導課				
目的	教員が、個別最適な学びや協働的な学びを意識した授業実践を行うことができるよう、教員のICTスキル向上を図るとともに、BIツールを活用することで、教育データの利活用を図ります。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ICT 授業支援員※2を配置し、教員の ICT スキルの向上を支援します。</li> <li>●ICT 授業支援員の指揮監督を担う ICT スーパーバイザーを配置することで、事例・教材等の効果的、効率的な共有を図り、学校間の ICT スキル格差を解消していきます。</li> <li>●モデル校を設定して教育データの利活用について研究し、成果を全校に広げていきます。</li> <li>●BI ツールを導入し、教育データ(学校での学習状況や評価、学習ドリルソフトの取組状況、各種学力調査の結果、意識調査の回答、授業への評価等)の集約・分析を行います。</li> <li>●ICT活用を進めていく上で必要となる情報モラル、デジタルシティズンシップについて、学年ごとに目指す子どもの姿を定め、教員が指導できるよう研修を行っていきます。</li> </ul>						
活動指標と工程表	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①授業における ICT 活用に自信をもっている教員の割合		ICT 授業支援員の配置				
	指標の達成状況	▶ 43.0%	50.0%	57.0%	64.0%	70.0%	75.0%
社会環境の変化等の背景	●調査項目である「ICT活用に自信をもっている」とは、教員の主観的な感情や自己評価に基づくものであり、実際のICT活用能力やスキルの習熟度を客観的に測定することが困難であったことから、事実に基づく指標とするため。						
今後の取組の方向性	●授業や校務等で、自らICTを活用することができる教員を増やしていくために様々な事業を行っているため、「他の教員やICT授業支援員の支援を得なくても、ICTを活用することのできる教員」の割合に活動指標を変更します。						
修正後の内容	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①他の教員や ICT 授業支援員の支援を得なくても、ICT を活用することができる教員の割合		ICT 授業支援員の配置				
	指標の達成状況	▶ —	/	/	82.0%	83.5%	85.0%